

たかはた 議会だより

No. 161

令和5年
10月20日号



- | | | | |
|--------|-----|---------|-------|
| • 決算審査 | 2~4 | • 一般質問 | 7~9 |
| • 補正予算 | 5 | • 議員の抱負 | 10~11 |
| • 議案審査 | 6 | • 表紙のひと | 12 |

決算 審査

令和4年度決算

令和4年度の決算について、決算特別委員会で審査しすべての決算を認定しました。身近な事業、事業費の大きなもの等を中心に紹介します。

(金額は万円未満切り捨て)

全会計支出額 (使ったお金)

221億437万円

基金残高 **32億8021万円**

借金残高 **170億9373万円**

		収入 (歳入)	支出 (歳出)
一般会計		127億7083万円	119億9643万円
特別会計 11会計 合計		66億6719万円	64億364万円
公営 企業 会計	病院事業	収益的収支	27億8078万円
		資本的収支	2億4843万円
	水道事業	収益的収支	5億6854万円
		資本的収支	1833万円
総合計		230億5413万円	221億437万円

※特別会計11会計 (下水道事業・農業集落排水事業・特定地域生活排水処理事業・飲料水供給事業・国民健康保険事業勘定・介護保険事業勘定・後期高齢者医療・訪問看護事業、高畠財産区・二井宿財産区・和田財産区)

総務費

18億6461万円

- ・熱中小学校プロジェクト
445万円
- ・大人の社会塾から発展
移住定住事業
184万円



民生費

34億6619万円

- ・病児保育事業
2740万円
- ・とこしえ高畠
整備補助金
4082万円



衛生費

12億4600万円

- ・コロナワクチン接種
1億9776万円
- ・公共施設再生可能エ
ネルギー可能性調査
979万円



農林水産業費

5億4948万円

- ・畜産所得向上支援事業
407万円
- ・有害鳥獣対策事業
566万円



をチェック

**認定
全会一致**

特徴的な事業

新庁舎・スマートインター・物価高騰対策等

新庁舎建設事業

- ・基本実施設計業務
6996万円
- ・庁舎周辺工事ほか
1億161万円



令和7年
5月開庁

スマートインター チェンジ設置事業

- ・町道切り回し、用地
買収など
1億1213万円

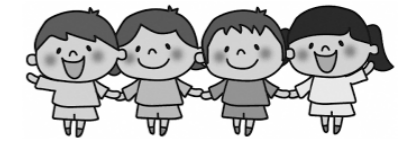


物価高騰・経済支援

- ・生活応援商品券 (1人 3000円) **7382万円**
- ・プレミアムクーポン事業 **4584万円**
- ・事業継続支援 **2475万円**
- ・農業生産費高騰支援 **2429万円**
- ・製造業等エネルギー価格高騰対策 **6675万円**
- ・学校給食費負担軽減 **509万円**

所得の少ない方への支援

- ・価格高騰緊急支援給付金
(1世帯5万円) **7258万円**
- ・臨時特別給付金
(住民税非課税世帯) **3606万円**
- ・子育て世帯生活支援 **1611万円**



商工費

7億5140万円

- ・ふるさと納税経費
1億8284万円
- ・犬猫やすらぎの郷整備
617万円
- ・リーダー経営人財育成塾
990万円



ふるさと納税額
3億4879万円

土木費

11億2385万円

- ・道路新設改良 (4路線)
1億1394万円
- ・道路維持事業 (6路線)
8414万円
- ・住宅リフォーム事業
1395万円



消防費

4億6488万円

- ・消防団報酬改定
2901万円
- ・消防団装備品整備
567万円 (靴・手袋)
- ・防災無線スピーカー増設
367万円



出動手当
が新設

教育費

10億9793万円

- ・スクールバス購入
(高畠小学校)
390万円
- ・学校情報教育環境整備
1950万円



令和4年度の決算が提案され、次の質疑があった。

自主財源の確保

町が自由に使える町税、ふるさと納税等、自主財源確保の対策は。

町税増取のため、企業の業績が上がる対策や、企業誘致を進めていく。また、ふるさと納税にも積極的に取り組んでいく。

移住定住

熱中小学校での交流や大人の社会熟等の移住定住政策を進めてきたが、どのような課題が見えてきたか。

熱中小学校の参加者は年齢層が比較的高く、移住に繋がりにくい課題がある。地域おこし協力隊の募集や学生の地域留学

等、移住に繋がる政策を引き続き検討していく。

危険空き家対策

危険空き家の除却に至った経緯は。また、今後活かされることは。

周りに迷惑をかけられないという思いから除却につながった。解体工事費が上がったため、費用が課題となっている。個別相談を深め、道を開いていく。

農地バンク事業

は。事業展開を再考する必要があるのではないか。コロナ禍で少人数での開催となったため、カップル成立数が少なかった。

婚活サポート事業の認知度が低いため、積極的に周知活動を行っていく。

今後の方向性は。現在の主な活動は農家の直売であり、宮城県村田町の道の駅や「もつくるのうか市」で直売している。また、会報誌「たぐつね」を発行している。農業体験は、それぞれの受け入れ団体で活動し、大学生の訪問などが復活している。



有害鳥獣対策

電気柵補助は希望者全員に交付されたか。

全員に補助している。5年度から家庭菜園にも対象を広げた。

有害鳥獣の焼却施設の検討経過は。

白鷹町が単独で建

設する方向で進んでいる。専用の運搬車両を導入し、搬入する予定である。

町民の健康状態分析

分析事業はどのように行なったか。

4年度からの事業で、医師が中心メンバーの団体に委託し、分析を行ったものである。

健康課題の傾向は何か。

生活習慣に起因する病気が、約4割であった。特に、血圧、血糖に所見がある人が多い。1人当たりの医療費は増加傾向である。

教育用タブレット

小学校1年生まで全児童生徒にタブレットが導入されたが、新品か。今後の更新の方針は。

1年生にはリリース

契約で新品を導入した。リース期間に応じて更新していく。購入分については、しかるべき時期をみて更新していく予定である。

読書の推進

小中学校の図書館司書は3名で十分か。本に親しむには、専任職員が必要では。

学校に司書を配置しているのは、東南置賜で高島町のみである。小中学校合わせて7校を3名で分担し、中学校は登校日の半分を司書が対応している。また、図書担当教員が可能な限り対応し、読書を推進している。



可決 全会一致

12会計補正総額 10億7593万円

補正予算

主な会計			
一般会計	7億 477万円	(総額 136億3956万円)	
国民健康保険	4892万円	(総額 25億9607万円)	
介護保険	1億9160万円	(総額 30億3861万円)	
宅地造成事業	1億1728万円	(総額 1億7096万円)	

注目事業

- 冬の生活応援事業（灯油助成） 225万円
- 再生可能エネルギー設備導入補助 110万円
- 畜産農家飼料高騰支援 4373万円



- 中小企業設備投資等補助 1100万円
- スクールバス置き去り防止ブザー 143万円
- 高島中学校可搬式冷房機器整備 320万円
- 宅地造成事業土地売り払い収入 1億1728万円
- 49区画のうち24区画契約
- フォーチュンタウン駅西助成 1250万円



※6年度にむけて、高島高校就学支援事業 1000万円
・通学援助などを検討中

6年度

高島高校就学支援

高島高校の定員割れが続く、1クラスになる可能性があるため、町唯一の高等学校である高島高校の存続に向け、支援事業を行う。また、高島高校の魅力化アップにも取り組んでいきたいと考えている。

高島中学校可搬式冷房機器整備

熱中症対策として、山形県の補助を受けて高島中学校に2台設置する。

企業版ふるさと納税で登山道、森林整備

登山道整備に、300万円の指定寄附があった。豪士山登山道の指導標や案内板の設置、林道を整備する事業に活用する。

令和4年度の繰越金が確定したことに伴い補正予算が提案され、次の質疑があった。

て、購入代金の一部を支援する。

フォーチュンタウン 駅西助成

当初予算額よりも多い補正額になっている理由は。

当初の見込みよりも販売が好調で、49区画のうち24区画が契約済みとなり、収入が大

幅に増えた。

また、子育て世帯、町外からの転入世帯等に対する補助制度があり、見込んでいたより対象者が増えるため、増額となったものである。

中小企業 設備投資等補助

中小企業振興融資

の貸付金を5000万円減額し、設備投資等補助を増額した理由は。

コロナ融資制度の活用が多く、中小企業振興融資貸付金の申請が少なかったため実績に応じて減額したものである。

設備投資は、企業から相談、申請があり、補助を行うため増額している。

直島義友議員



動画配信はこちらから

「やさしい除雪」を 実施できないか

町長 現地確認し対応していく

問 ブルドーザーなどの除雪車に押し出された雪が間口をふさぐため、高齢者や障害者は間口除雪が困難である。それを軽減するため、米沢市では「押雪軽減支援」を行っている。当町でも今年冬からぜひ実施できないか。

答 除雪業者は、運転手確保に苦慮しており、現状以上の対応は体制的にも困難である。今年度は、米沢市の事例を参考に除雪業者との意見交換や検討を行う。

問 裏通りなど道幅が狭い所は、排雪が必要である。排雪作業の判

断基準はあるのか。

答 排雪は、交通量や利用状況を踏まえ、現地確認し判断している。

問 除雪費の支援金を申請する際、領収書は事後に添付することにしているか。

答 除雪支援金の申請については、これまで事後添付も含め申請者の都合に合わせて対応している。

処理水放出の影響は

問 中国は原発の処理水に反発し、日本からの水産物輸入を停止している。町民の健康に関する事であり、水産物の安全性を町民に知

らせるべきと考えるがどうか。

答 本町は、福島第一原発の処理水に関する一連の取り組みについて、安全性の科学的根拠を示す立場にはない。処理水の海洋放出については、国が政治的に国内外を問わず、対応すべき案件と考えている。

インバウンドを積極的に

問 訪日観光客が増えてきており、地方にも来ている。この機を逃さず積極的に、外国からの旅行者を迎える作戦を町と民間で協議会を組織して、具体化し実行してはどうか。

答 町の農産物や童話・民話を活かして誘客するのはどうか。

問 町の観光事業者をはじめ山形県や置賜インバウンド推進協議会による広域での観光誘



▲インバウンド推進のための多言語パンフレット

条例

放課後児童クラブのうち、和地区の「げんきクラブ」が、施設の老朽化のため旧JA和田出張所に移転する条例が提案された。

JAのATMの利用車両やぶどうの出荷時期に、出荷、集荷のトラックが出入りすること、学校からの移動手段など、児童の安全対策について、質疑があった。

*全会一致で可決



改修されたげんきクラブ

しっかり安全対策を!

契約

**新庁舎環境負荷低減
工事請負契約**

【契約額】
10億7800万円

【契約先】
後藤・升川・弘栄・電化特定建設工事共同

企業体

自然エネルギー（太陽光発電・地中熱ヒートポンプ等）を利用した設備や、省エネ型の設備を導入する工事を、本体工事を受注した企業体と契約したもの。

*全会一致で可決

人事

選挙管理委員

- 長谷川 正さん
- 山田 文子さん
- 高橋 志保さん
- 金子 修さん

*委員4名と補充員4名を選出

人権擁護委員

- 小野 美香さん
- *適任であると答申

高島町教育長

- 遠藤 正真さん
- *再任に同意

高島町教育委員

- 渡部 宗雄さん
- *再任に同意

遠藤教育長にインタビュー

再任された遠藤教育長に、お話を伺いました。

教育長から見た町の魅力は

地域の大人が、子ども達をめぐって、とても大事にしてくださっている、ありがたいと感じています。朝の見守り隊や、教育活動への協力、何十年も地場産の野菜を学校給食に提供してくだ



さるなど、地域全体で子どもの成長を応援してくださっていると思います。

教育長から見た子どもたちの印象は

素直で、すてきな、めんごい子ども達です。そして、一人ひとりが、その子らしい輝く力を秘めているな、と感じています。

教育長が目指す教育は

高島町には素晴らしい町民憲章があります。それを基に作成した町の総合計画で掲げている目標「魅力ある高島人が育っている」を目指したいと思っています。それを具現化するに

ICTを有効に活用

したいものです。

高島町の良さを十分に感じ取り、それをエネルギーに変えて、生涯にわたって学び続けて自分の能力を伸ばすとともに、町や地域社会のために力を発揮できる魅力ある高島人の育成を目指してまいります。

客に取り組んでいる。さらに民間から聞き取りを行っていききたい。

問 インバンド対策としてどのような施策を持っているか。

答 インバンド対策の施策は、本町自慢のぶどうを堪能できるくだもの狩り体験や、お祭りへの参加体験など、

同時に、町内での受け入れ環境を整備しながら、地元の食事を提供できるよう町内の観光施設、飲食店との連携を強化していく。

伊澤良治 議員



動画配信はこちらから

くらし支援が必要ではないか

町長 くらし支援の予算化を計画している

問 異常ともいえる暑さとともに長引くコロナ禍の影響もあり電気燃料、食品等の値上げでくらしへの不安が高まっている。くらし支援が必要と考えるが。

答 地方創生臨時交付金の制度を活用し、でき得る限りの支援を行ってきた。令和5年度も6月定例会で可決された事業について鋭意支援に取り組んでいる。

9月定例会でも、エネルギー価格高騰および物価高騰支援事業の予算化を計画している。

いのちと健康を守るクーラー設置を

問 熱中症による死者

が近年急増している。その9割が屋内のクーラー未設置か未使用者である。クーラーは命と健康を守る生活必需品と考えるが、その認識についてお聞きする。

今後も猛暑が続く予想であり、生活保護世帯や低所得者層への設置支援が必要と考えるが。

答 冷房器具に特化した支援は今のところないが、近年の気候変動から熱中症対策全体の中で支援のあり方を考えていく必要がある。

なお、高齢者の予防対策としては、民生委員などが訪問して、注意喚起や見守り活動を行

耕作放棄地対策推進について

行っている。

問 中山間地での耕作放棄地が進んでいる。「何とかせねば」という思いを持ちつつも悩んでいる現状がある。現場に行って地域のひとと一緒に考え、話し合う事が大事ではないか。

答 耕作放棄地を解消するには、中山間地域だけでなく、地域全体で問題を共有し、機運を高めることが重要である。

水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防ぐ等の多面的機能を有している。これらの機能を維持していくには、地域で取り組んでいる多面的機能支払交付金制度・中山間地域等直接支払制度等を活用し、耕作放棄地の解消に向けた活動を推進していく必要がある。地域と一緒に

やさしい間口除雪の必要性

になって対応を考えていく。

問 高齢者、身障者世帯で大きな雪の塊の片づけは困難である。米沢市の例などを参考に安心して暮らすためには「やさしい間口除雪」が必要と考えるがどうか。

答 間口除雪への対応については、除雪委託業者の体制や、受け持つ路線規模と完了目標時間などの関係から課題は多い。

「雪の塊を置いていかない」などの対応について、今後委託業者と意見交換の場を設け検討を行う。



▲地域全体で解決が望まれる耕作放棄地

菊地英雄 議員



動画配信はこちらから

「不適切な保育」実態調査の結果は

町長 不適切な保育の事実はなかった

問 他県で発生した保育園児の送迎バス置き去り死亡事故、保育士による園児暴行等による「不適切な保育」事件発生を受け、国が実態調査を行っている。国が実態調査を行っている。把握し判断したのか。

答 不適切な保育に対してはそれぞれ国が町を介して実態調査を行っているが、町内の認可施設においてはそのような事実はなかった。

各園とも、国のマニュアル等に沿って対策を徹底しているからであるが、町としても今後、定期的な確認や独自の調査を行っていく。

保育の質確保 町の役割は

問 国は調査を機に保育の質確保に向けたガ



▲子どもたちの健やかな成長には保育士の寄り添いが大切

イドラインを示したが、子どもの心身に有害な影響を与えないためには、問題として捉える共通認識が必要では。

民間施設に対しても、保育の実施主体である町として、役割をどう果たしていく考えか。

答 今回の調査の中で、保育現場では相当な不安を抱えていることも

確認している。いつでも相談を受けられる体制と、常に同じ認識を持つことで、少しでも現場の課題や不安を解消していくことが町の役割と考える。

保育士配置基準が課題では

問 不適切な現場の諸問題は、保育士の慢性的な人員不足が課題。75年間も変わらず、保育士1人が受け持つ幼児の年齢別配置基準こそが根源の問題と思う。安全で質の高い保育実現に無理がある現状において、国に配置基準の見直し、運営費増額を求める等、町の認識と今後の対応は。

答 配置基準の見直しは、国の方針が出されているが、各園とも基準を超過した配置となっている。現場の聞き取りからさらに改善すべきものと捉えている。

そのためには、公定価格の底上げなど運営費の増額が必要であり、国に対しても様々な機会を要望していく。

意欲を持ち続けられる処遇改善を

問 保育士の賃金水準は全産業と比べ月額8万円程度少なく、業務負担に見合わない処遇面の課題もある。

一人ひとりの子どもに寄り添いながら意欲を持ち続けていける環境づくりが不可欠だが、実態をどう捉えているか。

答 加配が必要な子が増えている等、現場の負担が大きくなっている現状である。町独自で補助も行っているが、今後展開される国の施策に対してもすぐに対応できる体制を整えながら、一つ一つの課題を改善していく。

新体制スタート

初当選議員7人!



チーム議会で前へ

8月6日の町議会議員選挙の結果、半数の議員が入り替わり、新しい顔ぶれとなりました。今回は、15人全員の趣味と4年間の抱負をご紹介します。

- ①趣味 ②4年間の抱負

2番 竹田正樹 議員



- ①スポ少活動（卓球）
- ②「持続可能な町とする」この目標の実現性を高めるためにも、まずは行政や議会を学び町民の声を聞くことが先。そして学びを得た後、目標に向かい邁進します。

4番 金子睦夫 議員



- ①温泉めぐり、野外活動、そば打ち
- ②わたしの信条は「自分たちの町は自分たちで守り育てる！」議員として研鑽を積み、多くの方と時間と空間を共有する、具現化に向けて行動する、そんな歩みをしたいと思います。

6番 木村雅博 議員



- ①漬物、観劇
- ②次の世代により良い社会を受け渡す責任を果たします。高島町の更なる発展を願い、「農業・地域・教育」3つの柱で課題解決に全力で取り組むことを誓います。

1番 西方茂太 議員



- ①料理、食べること
- ②新人議員の西方茂太と申します。1期4年の限られた任期となりますが、私が生まれ育った高島町のため、皆様の声を聞き、誠心誠意課題に対して取り組んでまいります。

3番 佐藤純子 議員



- ①映画、音楽鑑賞、カラオケ（牛舎で熱唱する!）
- ②小さな声、現場の声、声なき声を聴き、町政に届け、高島町をさらに住みよいまほるばの里にしていきたい! 町と県・国をつなぐパイプ役として課題に取り組み、迅速、懸命に働いてまいります。

5番 青柳 貴 議員



- ①詩吟、家庭菜園、写真撮影
- ②町民の皆様から絶大な信頼をいただけるよう議員活動をいたします。そのためにも真の情報元を元に行動し、納得していただける結果を示せるよう誠心誠意で働きます。

7番 武田正隆 議員



- ①釣り、読書
- ②農業をはじめとする町内産業の振興に取り組み、交流人口の増加、農業後継者育成に向けて努めてまいります。住みたい町づくり、町民生活向上に取り組んでまいります。

議員紹介&4年間の抱負



8番 平 誠 議員



- ①バスケットボール、スポーツ観戦
- ②4年の経験を活かし、わかりやすい広報づくりと広聴活動を頑張らせてまいります。産業厚生分野を数多く学んで、農商工の活性化を推進できるよう精一杯取り組みます。

10番 秋葉晶子 議員



- ①山菜採り、料理
- ②「初心を忘れず現場の声を大切に」をモットーに、開かれた議会を目指します。町民の声に耳を傾け、女性目線で誰もが安心して暮らすことができる元気なまちづくりに全力を尽くします。

12番 武田 修 議員



- ①野菜づくり
- ②「備えあれば憂いなし」、町民の皆様とお約束した公約を果たすとともに、年間を通して異常気象下で生活する現状、防災に対する備えをしっかりと、安心して暮らせる街づくりに努めます。

14番 直島義友 議員



- ①NHK朝ドラ・大河ドラマ鑑賞、ソフトボール
- ②明るく元気な町づくりを目指して発言していきます。農業を始め、町の産業を継続・発展させ、老いも若きも明るく元気で生活できる町づくりのためがんばります。

9番 山木義昭 議員



- ①山菜採り
- ②初心を忘れることなく、常に町民の声に耳を傾け、今住んでいる方も50年後、100年後に住んでいる町民も、住んでよかった! 住み続けたい! と思える町づくりを進めていきたいと思えます。

11番 菊地英雄 議員



- ①登山、温泉旅行(今は妄想...)
- ②安心と希望を未来に継承できる生活と、産業、環境、教育基盤づくりに向け、有権者の代表として地域とともに研究しながら、政策を提案していきます。また、監査委員としての役割を果たします。

13番 伊澤良治 議員



- ①歴史小説を読むこと、スポーツ観戦
- ②町民の足の確保、子育て支援、やさしい除雪などくらしの声を届け、生きる町づくりを進めていきます。そのために開かれた町民参加の議会となるよう努力し、人にやさしい町づくりに取り組みます。

15番 関 陽介 議員



- ①家庭菜園、「賢くなるパズル」
- ②コロナ禍で希薄となった町民と議会との距離を縮め、町民の声を議会、町政に届けていきます。また、人口減少を前提とし、次の世代にツケを回さない、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

●表紙のひと●

き・ら・り まほろば人

高島町のぶどう畑を担い、次世代へ

高橋^{ぜんすけ}善祐さん 未来^{みき}さん ご夫妻

(元和田)

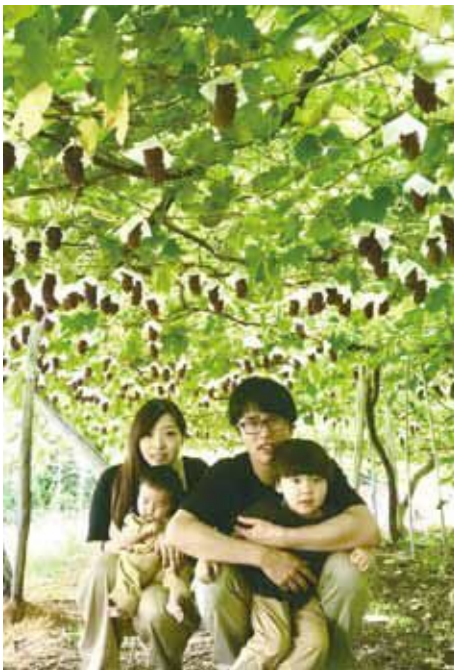
国内外でワインぶどう栽培や醸造を10年経験した後に、故郷高島町にUターン帰郷した高橋善祐さんと長野県出身で国内外の観光誘客に携わってきた未来さんご夫妻に、高島で就農した想いを伺いました。

昨年お2人は、高島町元和田に「oboco grapes」という屋号でぶどう園を開始しました。お茶目な長男とマイペースな長女の4人家族です。

就農した理由は3つ。1つ目は、善祐さんが幼少期から親しんでいた先輩農家さんが次々と引退し、ぶどう畑が広がる風景が急激に減少する現実を実感したこと。2つ目は、高島町が安定して高品質なぶどうを収穫できる魅力的な土地だと気付いたこと。善祐さんは大学時代にワインに目覚め、ニュージーランドでワイン用ぶどうの栽培醸造を学びました。

卒業後も国内外の産地でぶどう栽培を経験した後に故郷で感じたのは、「高島町でぶどう作りをしたい」という強い思いでした。幸い未来さんも同じ道を歩む決意をしてくれました。

3つ目は、運命的な古民家との出会い。子供たちとここで暮らしていきたいと夫婦の直感が一致したといいます。



高橋さんご夫妻から

就農して2年目を迎えた今、ご近所さんから頂く新鮮な野菜や温かな言葉掛け等、この地で生きる豊かさを実感しています。

和田地区では、地元のみinnで地域を盛り上げる祭りや朝市など、地域おこし活動が盛んだと感じます。また、ぶどう栽培に関して、雨による病害・雪害・獣害と厳しい環境の中でも、地域が一体となって、独自の栽培技術を培い産地を築いてこられた先人達の偉大さを実感しています。私たちもそんな先輩達から園地を借り受け栽培していますが、耕作放棄地の増加はぶどう産地として大きな課題です。

この故郷に生きる次世代の子供達にぶどうのある風景を残したい。それが「oboco grapes」という屋号に私たちが込めた思いです。

高島町をぶどう産地として盛り上げていきたい。そのために先輩方から栽培技術を学び担い手を増やす一助になれるよう夫婦力を合わせ、頑張ります！

委員長
副委員長
委員

編集委員

西金青武秋佐平
方子柳田葉藤
茂陸 正晶純
太夫貴隆子子誠

12月定例会を傍聴しませんか 12月12日(火)~22日(金)

本会議は自由に傍聴できます。
詳しい日程は12/7以降町ホームページでご確認ください。
問い合わせ先 議会事務局 ☎52-4485